

第62回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会プログラム

会 期 平成29年9月30日(土) 13:00～17:00
会 場 愛媛看護研修センター 大研修室
例会長 尾崎 牧子(松山赤十字病院 検査部)

会長挨拶および総会

13:00～13:15

例会長 尾崎 牧子(松山赤十字病院 検査部)
支部長 池田 和真(岡山県赤十字血液センター)

一般演題

I. 輸血検査

13:15～13:55

座長: 野間 慎尋(広島大学病院 診療支援部)

1. 愛媛県における依頼検査の現状と抗原陰性血の供給状況について

愛媛県赤十字血液センター

矢野健一、福田 稔、友澤 勝、佐野万里子、伊藤祐輝、門田之彦、代 隆彦、
芦原俊昭

2. 抗Jr^a保有妊婦に大量輸血した1症例

地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 臨床検査部
中山奈緒、小池いづみ、佐々木富美江、白井琢也

3. 副試験で赤血球製剤中の抗Eを検出した一例

香川県立中央病院 輸血部¹⁾、香川県立中央病院 血液内科²⁾、
香川県立中央病院 中央検査部³⁾
小蓑幸代¹⁾、山下大志郎¹⁾、秋山寿美¹⁾、内田正美³⁾、川上公宏²⁾

4. Cromer 血液型抗原に対する抗体, 抗CROZと考えられる抗体が検出された一例

愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部¹⁾、
愛媛大学医学部附属病院 検査部²⁾、愛媛大学医学部附属病院 第一内科³⁾、
日本赤十字社中四国ブロック血液センター 品質部検査一課⁴⁾
秋田 誠¹⁾、土居靖和¹⁾、越智千晶¹⁾、岡本康二¹⁾、谷口裕美²⁾、西宮達也²⁾、
宮本仁志²⁾、山之内純³⁾、米元めぐみ⁴⁾、羽藤高明¹⁾

II. 輸血臨床

13 : 55 ~ 14 : 35

座長：川上 公宏（香川県立中央病院 血液内科）

5. 血小板輸血によるアナフィラキシー後、洗浄血小板輸血にて対応した急性骨髄性白血病の1例

松山赤十字病院 内科
坂本愛子、徳山貴人、松原悦子、齋藤統之、波呂 卓、上田陽子、藤崎智明

6. 持続する筋肉内出血に対してフィブリノゲン製剤が著効した2症例

愛媛大学 血液・免疫・感染症内科学¹⁾、愛媛大学 輸血・細胞治療部²⁾
山之内純¹⁾、越智俊元¹⁾、池田祐一¹⁾、土居靖和²⁾、羽藤高明²⁾

7. MDS 治療における輸血療法とQOL

独立行政法人国立病院機構米子医療センター 血液腫瘍内科¹⁾、
独立行政法人国立病院機構米子医療センター 検査科²⁾
但馬史人¹⁾、濱田のぞみ¹⁾、矢田 丞¹⁾、的場加名¹⁾、田邊久美子¹⁾、新田ひとみ¹⁾、
田澤千明²⁾、西尾崇矢²⁾、足立康二¹⁾

8. 健常人ドナーにおけるクエン酸中毒 －CMNCモードとMNCモードで違いがあるのか－

岡山大学病院 検査部¹⁾、岡山大学病院 血液・腫瘍内科²⁾、
岡山大学病院 輸血部³⁾、岡山大学病院 看護部⁴⁾
藤井敬子^{1,2)}、清家圭介^{2,3)}、三道康永^{2,3)}、中村 真^{2,3)}、高木尚江^{2,4)}、間 結稀²⁾、
池田 亮²⁾、浅野尚美²⁾、小郷博昭²⁾、藤井伸治^{2,3)}

Ⅲ. 適正使用・血液事業

14 : 35 ~ 15 : 15

座長：井上 政弥（島根大学医学部附属病院 輸血部）

9. 当院におけるアルブミン製剤の検査部一元管理の現状

岡山赤十字病院 検査部¹⁾、岡山赤十字病院 薬剤部²⁾、
岡山赤十字病院 麻酔科³⁾、岡山赤十字病院 救急部⁴⁾
折田友美¹⁾、小野瑛朱香¹⁾、平松成奈美¹⁾、樋口信久¹⁾、田邊 稔¹⁾、丹下雅貴¹⁾、
諏訪耕三²⁾、福島臣啓³⁾、實金 健⁴⁾、石井史子¹⁾

10. アルブミン適正使用の推進：アルブミン製剤一元管理の効果と腹水ろ過濃縮再静注法（CART）の取り組み

川崎医科大学附属病院¹⁾、川崎医科大学血液内科学²⁾、川崎医科大学検査診断学³⁾、
埼玉医科大学総合医療センター輸血・細胞治療部⁴⁾
文屋涼子¹⁾、中桐逸博¹⁾、岡井美樹¹⁾、仲井富久江¹⁾、永井智美¹⁾、松橋佳子²⁾、
北中 明³⁾、田坂大象⁴⁾、通山 薫³⁾、和田秀穂^{1,2)}

11. 当院におけるクリオプレシピテートの使用状況と問題点

徳島大学病院 輸血・細胞治療部
瀧本朋美、李 悦子、小田直輝、佃 恵里加、三木浩和、安倍正博

12. MRと医療機関担当者による供給モニタリングの実施

日本赤十字社中四国ブロック血液センター¹⁾、高知県赤十字血液センター²⁾、
香川県赤十字血液センター³⁾
是澤光治¹⁾、船津理恵¹⁾、坪田 徹¹⁾、門田 広²⁾、岡田英俊¹⁾、大川正史¹⁾、
本田豊彦^{1,3)}、椿 和央¹⁾

Ⅳ. 安全対策

15 : 15 ~ 15 : 55

座長：李 悦子（徳島大学病院 輸血・細胞治療部）

13. 輸血機能評価認定（I&A）更新に向けた安全で適正な輸血療法への取り組み

広島大学病院診療支援部 遺伝子細胞療法部門¹⁾、広島大学病院輸血部²⁾
下本和輝¹⁾、野間慎尋¹⁾、広瀬祥子¹⁾、栗田絵美¹⁾、小松真由美¹⁾、河野真由¹⁾、
山岡愛子¹⁾、矢内綾佳¹⁾、野崎晶太¹⁾、藤井輝久²⁾

14. 当院の安全な輸血への取り組み

高松赤十字病院 検査部¹⁾、高松赤十字病院 看護部²⁾、
高松赤十字病院 血液内科³⁾、高松赤十字病院 化学療法科部⁴⁾
細川早織¹⁾、輝平咲季¹⁾、徳住美鈴¹⁾、高杉淑子¹⁾、久保日登美²⁾、井出 眞³⁾、
和泉洋一郎⁴⁾

15. 診療科の要望を反映した緊急輸血に関する輸血マニュアルの改訂

岡山大学病院輸血部¹⁾、岡山大学病院看護部²⁾、岡山大学病院検査部³⁾
聞 結稀¹⁾、小郷博昭¹⁾、浅野尚美¹⁾、池田 亮¹⁾、高木尚江²⁾、藤井敬子³⁾、
藤井伸治¹⁾

16. 大街道献血ルームにおける学会認定・アフェレーシスナースの取り組み ～採血キット装着インシデント防止策～

愛媛県赤十字血液センター
小川 泉、藤村和枝、重村華子、樋口真美、山本かずみ、津吉 薫、福原千佳、
曾根岡敬子、白石洋子、井上誠一、芦原俊昭

休憩

15 : 55 ～ 16 : 05

特別講演

16 : 05 ～ 16 : 55

座長：尾崎 牧子（松山赤十字病院 検査部）

「JR血液型～妊娠による抗Jr^a産生と児への影響～」

東北ブロック血液センター品質部検査一課 伊藤 正一

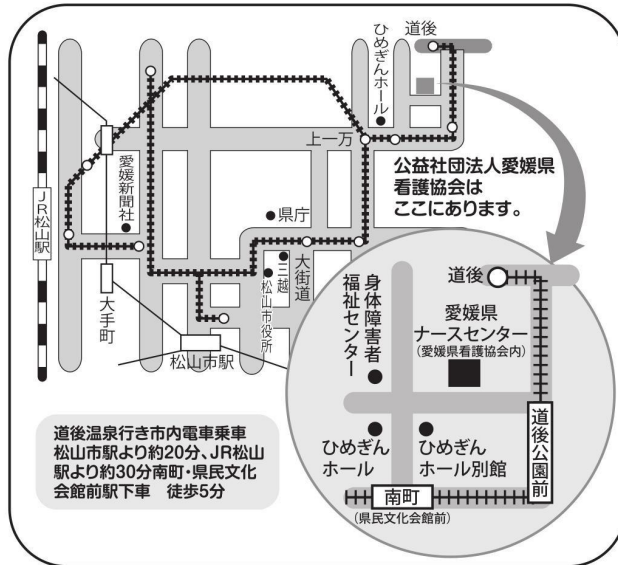
閉会挨拶

16 : 55 ～ 17 : 00

例会長 尾崎 牧子（松山赤十字病院 検査部）

会場案内

<会場> 愛媛看護研修センター 大研修室
〒790-0843 松山市道後町2丁目11-14
TEL 089-923-1287



<交通・アクセス>

公共交通機関：

JR松山駅から

伊予鉄市内電車（道後温泉行）で約16分 南町で下車
伊予鉄バス（道後温泉駅前行）で約15分 南町・県民文化会館前で下車

松山市駅から

伊予鉄市内電車（道後温泉行）で約13分 南町で下車
伊予鉄バス（道後温泉駅前行）で約12分 南町・県民文化会館前で下車

松山空港から

伊予鉄バス（道後温泉駅前行）で約30分 南町・県民文化会館前で下車

松山観光港から

伊予鉄バス（道後温泉駅前行）で約35分 南町・県民文化会館前で下車

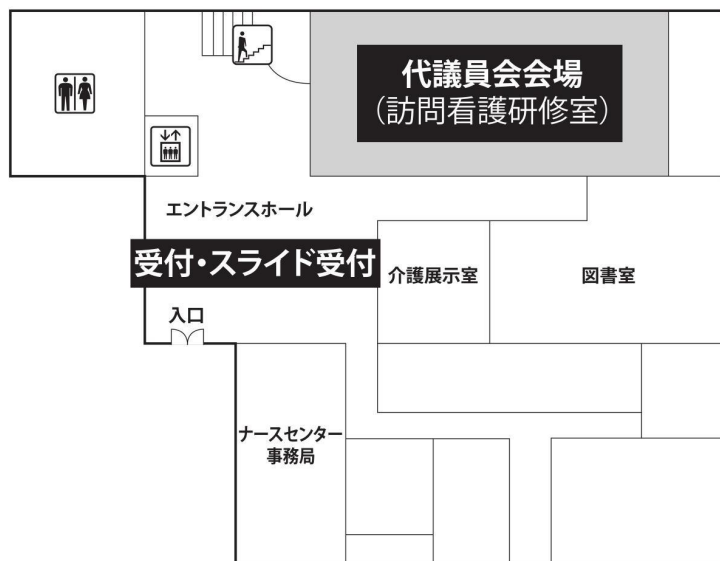
自家用車：

松山ICより8km 約25分

* 駐車場は近隣の有料駐車場をご利用ください

愛媛看護研修センター

1F



2F



愛媛看護会館

3F

